

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3\_経済・雇用】

施策 3-4\_観光・物産の振興

	基本計画	事業番号	細事業名称
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07030_11	銅婚の里PR推進事業
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07069_01	マイントピア別子端出場整備事業
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07169_01	マイントピア別子東平整備事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07030_08	着地型旅行商品企画・造成事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_06	県外物産展開催事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_11	七福芋ブランド推進事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_02	にいほま納涼花火大会事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_05	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_10	とっておきの新居浜検定事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07030_01	観光宣伝推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_01	NS観光推進協議会事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_02	別子・翠波はな街道サイクリング事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_03	三市連携広域観光宣伝推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07088_01	観光施設整備事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07221_01	太鼓祭り観光資源化推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07254_01	新居浜市観光物産協会事業補助金

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	07030_11	
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	銅婚の里PR推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外からの入込観光客数		数値	778,445人		
	手段(どうやって)	銅(あかがね)の里新居浜で、結婚7年目(銅婚)を祝い、別子銅山の産業遺産、あかがねミュージアム、マウントピア別子、広瀬歴史記念館など「銅」をテーマとしたイベントを開催し、情報発信を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山近代化産業遺産等を活用した観光振興を図ることにより、新居浜市のブランドイメージを高め、交流人口の拡大を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,163	1,935	1,935	1,925	○委託料 1,935千円	
財源	県・国支出金	1,419	967	967	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,744	968	968	1,925		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
参加者数			目標値	150	150	150	—
			実績	202	144	50	328
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
「新居浜＝銅」のイメージを定着させるため、居住地を問わず今年銅婚を迎える方を対象にイベントを開催した。しかし、対象者の数は限られており集客面で苦労している。それを踏まえて秋に予定しているイベントでは、銅婚を迎える方以外も対象とし家族で楽しめる内容を準備、今後銅婚を迎える方への啓発の意味も持たせるよう工夫しているところではあるが、簡素化し質の高いイベントを1回する方が効果的であると考えます。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
開催回数を1回にすることでより効率的で効果的なイベントとするため、予算は縮小する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
平成28年度から実施してきた銅婚の里PR事業であるが、あかがねポイント贈呈廃止によるイベント参加者数の激減、対象者が結婚7年目の夫婦という限られたものであることから費用対効果を鑑みて事業を廃止する。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07069_01			
事業名(行目名称)		マイントピア別子端出場整備事業	細事業名	マイントピア別子端出場整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数	数値	2				
	手段(どうやって)	必要箇所の修繕及び計画に基づいた定期的な改修工事等を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	常に快適かつ安全に利用してもらえるよう施設、設備等の整備を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		264,398	83,532	83,532	39,634	○需用費 6,378千円 ○工事請負費 77,154千円		
財源	県・国支出金	45,998	0	0	0			
	地方債	174,800	69,400	69,400	29,600			
	その他	36,547	14,132	14,132	8,901			
	一般財源	7,053	0	0	1,133			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
修繕箇所及び工事件数			目標値	20	20	10	20	20
			実績	12	20	8	18	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
<p>新居浜市の主要観光施設「マイントピア別子」の機能維持のための工事・修繕に係る事業であり、建設から30年以上が経過していることから、修繕・工事件数はもとより1件当たりの規模についても年々増加している。また、観光交流施設についても、温浴施設のオープンから8年が経過していることから設備関係の経年劣化が増加傾向にあることから、施設利用者の安全で快適な環境の整備を実施し、継続的な施設運営を図る必要があることから、本事業を重点化する必要がある。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>建設から30年以上が経過しており、工事・修繕の件数及び規模も増加していることから、今後の施設の長寿命化を図っていくうえでも現状維持とする。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>マイントピア別子については、建設から30年以上が経過し施設運営に必要な設備の修繕件数が増加傾向にある。新居浜市の主要観光地であるマイントピア別子及び新居浜市観光交流施設を臨時休館することなく、継続的な施設運営を図るため、計画的な設備の更新、修繕工事を実施する必要がある、今後も令和3年度(令和4年度改定)に策定した施設整備計画に基づき計画的な設備の更新、修繕を進める。</p>								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07169_01		
事業名(行目名称)		マイントピア別子東平整備事業	細事業名 マイントピア別子東平整備事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策 観光・物産の振興				
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課 観光物産課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数		数値	1		
	手段(どうやって)	公共施設長寿命化計画に基づき、東平記念館の屋上防水工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	東平記念館を良好な良好な状態で維持する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			6,369	6,369	5,643	○工事請負費 6,369千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		5,700	5,700	5,000		
	その他		669	669	643		
	一般財源		0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
観光施設工事実施数		目標値			1	1	—
		実績			1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
公共施設長寿命化計画に基づき、東平記念館の屋上防水工事を実施した、今後も計画に基づき施設の長寿命化を図る必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
公共施設長寿命化計画に基づき、予算要望を行っていく必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
公共施設長寿命化計画に基づき、屋上防水工事を実施した。今後は本計画に基づき工事を実施することとなるため、次年度は事業としては休止する事とする。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07030_08		
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	着地型旅行商品企画・造成事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民及び市外からの観光客	数値	1523187			
	手段(どうやって)	観光素材集の整備・見直し、旅行会社等への当市観光資源のアプローチ・新規コンテンツの造成ならびに既存コンテンツのブラッシュアップ					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光施設、郷土料理、宿泊施設等の観光素材を取り込んだ着地型旅行商品を開発、流通させることにより、誘客機能の強化を図るとともに、観光客の滞在時間の増加を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 6,235千円	
経費		3,904	6,235	6,235	5,583		
財源	県・国支出金	1,897	2,775	2,775	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	3,460	3,460	5,583		
	一般財源	2,007	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
旅行商品販売数等(モニター含む)		目標値	10	10	10	10	4
		実績	7	10	0	11	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
旅行会社等へ本市の観光資源をPRすることは、観光客の増加のために欠かせない。ある程度知識や実績をもち観光客の受け皿となりうる者に請け負ってもらうことでより効果的なPRにつながっている。今後も、観光資源の磨き上げや新規商品の開発が必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
R6年度に重点的に行っている着地型旅行商品の企画造成が一段落する見込みであるため、R7年度は縮小する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
観光需要が高まっているなか、特にインバウンドに対する営業は効果的であり、4500人程度の誘客に繋げることができた。今後は適切なアプローチを行い効果的に事業を実施していく必要があることから、ターゲットを絞り事業規模の見直しを行う。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07077_06			
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	県外物産展開催事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外からの入込観光客		数値	778,445人			
	手段(どうやって)	県外(東京・せとうち旬彩館)での物産展の開催、都市間交流協定に伴う「大府産業文化まつり」への出展						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜ブランドの宣伝普及のための県外での物産展開催等により、本市の知名度アップ及び商品の販路拡大、ひいては地場産業の活性化を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○旅費 127千円 ○委託料 495千円		
経費		613	622	622	432			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0		0	0			
一般財源		613	622	622	432			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
事業参加店舗数			目標値	20	20	20	20	
			実績	2	2	1	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>県外において本市観光物産のPRをすることは、本市のファン獲得においてなくてはならない手段と考える。継続実施及び出展場所の新規開拓も必要である。愛知県大府市との交流手段の一つが観光物産PRであり、両市において物産展に参加することで効果的なPRができていると考える。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>観光物産は地域経済の活性化にもつながることから、現状維持を図る。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>都市間交流協定を締結している愛知県大府市で開催される「大府市産業文化まつり」に出展。物産の認知度向上及び販路開拓に努めた。</p>								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07077_11		
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	七福芋ブランド推進事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	スーパーマーケットトレイドショーパイヤー数		数値	88,121人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド推進協議会の活性化による七福芋のブランディング</li> <li>・七福芋マップの更新製作</li> <li>・販路開拓(首都圏での催事(スーパーマーケットトレイドショー)への出展)</li> <li>・新居浜高専との共同研究による商品価値創出</li> </ul>					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居大島でしか穫れない幻の白いも(七福芋)のブランド化並びに情報発信、販路開拓に取り組み、本市の弱みの一つである一次産品の生産量拡大並びに一次産品を活用した食・土産づくりの推進による観光振興、地域活性化を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 300千円	
経費		668	300	300	300		
財源	県・国支出金	223	150	150	150		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	445	150	150	150		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
新規成立数		目標値	2	2	2	2	2
		実績	0	1	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
生産量の増加が図りがたく、コスト面での不利もあり、販路の開拓には至っていない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
地域の独自性を持った七福芋の生産・販路拡大を継続して支援するため、予算編成方針を反映したうえで補助金を継続する							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
七福芋ブランド推進協議会による七福芋のブランディングは着実に進んでいるものの、生産量の少なさがネックになっていることから、生産体制の構築を図りつつ販路開拓を進めることによってブランド化の推進を図ることで、観光振興及び地域活性化を目指していく。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07028_02		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	にいはま納涼花火大会事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	入込観光客数	数値	2,594,818人			
	手段(どうやって)	にいはま納涼花火大会事業への補助金の支出					
	目的(どんな状態にしたいのか)	四国最大級の打ち上げ総数による花火大会の開催により、新居浜市の知名度アップと入り込み観光客数の増による地域経済の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		4,200	4,200	4,200	4,200	○負担金補助及び交付金 4,200千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	4,200	4,200	4,200		
一般財源		4,200	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
花火大会観客数(人)			目標値	80000	80000	80000	80000
			実績	0	75000	75000	80000
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
事業の実施にあたり、警備等の諸々のコストが増加している中で、現状の予算規模での実施が困難になっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
観光客の誘客事業として有効な事業であることから、予算編成方針を反映したうえで、事業を継続する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
今後においても、にいはま納涼花火大会を開催することにより、本市の知名度アップと入り込み観光客数の増加による地域経済の活性化を図っていく。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07028_05		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客		数値	1,200,000人		
	手段(どうやって)	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業の実施(1) 諸会議の開催(2) 5地区かきくらべ会場を視察し、祭典推進の指導(3) 観光面への寄与(ポスター掲示・幟設置・横断幕[歓迎]設置・仮設トイレの設置など)(4) 太鼓台円滑運行の推進(信号機嵩上・道路標識移動・放送設備設置・横断幕[平和祭典推進])(5) 平和祭典への取り組み					
	目的(どんな状態にしたいのか)	盛大な秋祭りを実現し、新居浜市の知名度アップと入り込み観光客数増による地域経済の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 11,178千円	
経費		8,434	11,178	11,178	8,987		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	11,178	11,178	8,987		
	一般財源	8,434	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
太鼓祭り観客数(人)		目標値	150000	150000	0	200000	200000
		実績	99300	190300	0	259150	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
事故のない、安心して楽しむことができる太鼓祭りを達成するため、引き続き平和運行に向けた啓発を行い観光振興に繋げる必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
安全、安心して楽しむことができる太鼓祭りを推進し、観光客をはじめとした観覧者にリピーターとなってもらうためには平和運行が必要不可欠である。これを達成するためには太鼓台関係者及び推進委員会が強固に連携し平和運行に向けた啓発、太鼓祭りを活用した観光振興を推進していく必要があることから現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
令和6年度については、川西地区で船御幸が開催されたことにより目標値を大きく上回る観光客の誘致が図られた。今後は計画通りに事業を進め、安全安心に「にいはま太鼓祭り」を楽しむことのできる体制を整備し、「にいはま太鼓祭り」を活用した観光振興に努める。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07028_10		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	とっておきの新居浜検定事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市の歴史や文化等に関心のある新居浜市民等		数値	120915		
	手段(どうやって)	新居浜市に関する近代化産業遺産、先人、食、物産、産業、観光、自然、方言、文化財等を問題にした「とっておきの新居浜検定」の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜の良さを再発見する機会を市民に提供するほか、新居浜の魅力を発信し、新居浜を訪れる観光客を増やす。また、新居浜の未来を担う子どもたちに対しても、ふるさとの良さを再発見する機会を提供し、将来の地域経済の活性化につなげる。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 125千円	
経費		116	125	125	97		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	116	125	125	97		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
新居浜検定受検者数(実数:人)		目標値	1200	1200	-	1200	1200
		実績	1107	1003	-	971	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>小学6年生を対象としたジュニア検定では、学校で使用するテキストから問題を出題することで合格しやすい問題作りに努めている。小さい頃から新居浜の歴史に触れることで地元への愛着を持ち、将来進学や就職といったライフステージが変化する場面において新居浜を選択する一助となることが期待される。一般向けの初級・中級検定についても、「とっておきの新居浜検定 公式テキストブック」から出題することで受検ハードルを下げている。一方、受検者を「観光ガイド」に誘導する意識が弱い点が課題である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>人口減少が進む中、1人でも多くの人々が新居浜のことを知り、関係人口となるために欠かせない事業であるため、現状維持を図る。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>受検者数が減少傾向であり、事業の継続については、検討する指示が内部で出ている。</p>							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	07030_01		
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	観光宣伝推進事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民及び市外からの観光客		数値	1,189,340人			
	手段(どうやって)	観光パンフレットなどの製作や配布、観光誘致ポスターの掲示等による情報発信						
	目的(どんな状態にしたいのか)	入り込み観光客の増加を図り、地域経済の活性化を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		8,118	5,358	5,358	4,106	○報償費 401千円 ○旅費 395千円 ○需用費 800千円 ○役務費 1,074千円 ○委託料 2,138千円 ○負担金補助及び交付金 550千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	123	350	350	116			
	一般財源	7,995	5,008	5,008	3,990			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
観光ポスター・パンフレット配布数			目標値	40000	40000	40000	45000	45000
			実績	17195	20757	12700	38835	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
観光パンフレットやポスターの作成及び配布は、本市への誘客のために必須の広報手段である。デジタル化も進んでいるが、ある程度の情報が1枚におさまっている安心感という点で紙パンフをなくすことはできないと考える。また、県外でのイベント参加は、本市の観光物産を宣伝するための有効な手段であり大府市等との都市間交流を継続して実施する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
広報広告について、より広く情報を届けるためにアナログも残しつつSNS等デジタルを活用した手段にシフトできるものは置き換えていく。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
本市の観光宣伝のため、観光パンフレットのリニューアルや太鼓祭りポスター・パンフレットの制作・配布等に取り組んでいる。時代に合わせた情報発信を行うため、制作物の選定を図り、都度内容を更新しながら継続して取り組むことが必要である。								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07033_01		
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	NS観光推進協議会事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市、四国中央市の市民及び他市からの観光客		数値	2,594,818人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロードマップ等の製作・配布</li> <li>・SNSによる情報発信や各種誘客イベントの開催</li> <li>・幹事会・総会等による情報交換</li> </ul>					
	目的(どんな状態にしたいのか)	四国中央市との連携による広報宣伝活動の充実を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		450	450	450	450	○負担金補助及び交付金 450千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	450	450	450	450		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
別子・翠波はな街道主要施設入込観光客数			目標値	500000	500000	500000	500000
			実績	614417			
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新居浜市から四国中央市までの山間部に連なる別子・翠波地区の活性化には、各地に点在する施設や自然を認知してもらう必要があるが、まだまだ新居浜市・四国中央市民を含めて認知が進んでいない							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
別子・翠波はな街道に沿線に手施設が点在しており、新居浜市域においてもマイントピア別子(立川町)・ゆらぎの森(別子山)に係る継続的な情報発信が大切である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
別子・翠波はな街道における主要施設(マイントピア別子・ゆらぎの森等)に係る広報宣伝活動を継続して実施し、入込観光客数の更なる増加を図る。							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07033_02		
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	別子・翠波はな街道サイクリング事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市、四国中央市の市民及び他市からの観光客		数値	2,594,818人		
	手段(どうやって)	「別子・翠波はな街道」をコースとしたサイクリング大会の開催					
	目的(どんな状態にしたいのか)	「別子・翠波はな街道」を舞台に、最近の観光振興の潮流であるサイクリングを活用し、四国中央市と共同にてサイクリング大会「別子・翠波はな街道サイクリング」を開催することにより、同ルートのPRや更なる地域活性化の推進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 700千円	
経費		700	700	700	700		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	700	700	700		
	一般財源	700	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
参加者人数(人)		目標値	200	200	-	200	—
		実績	60	58	-	45	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
<p>別子・翠波はな街道のPRに係るイベントとして四国中央市と共同でサイクリング大会を実施してきたが、参加者数は減少してきている。コース設定としても、ゆらぎの森が折返点となっているものの、コースの中に新居浜市エリアはほぼない状況である。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
<p>新居浜市の参加は、令和6年度大会をもって終了を見込んでいる。今後においては、四国中央市は単独での開催を検討している。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>サイクリング大会を四国中央市と共同開催しており、開催地を交互に担っている。四国中央市との協議により、令和6年度の大会をもって終了を検討している。</p>							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07033_03			
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	三市連携広域観光宣伝推進事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	東予東部三市における県外観光客数		数値	964,000人			
	手段(どうやって)	・インバウンド向けフリーマガジンへ三市観光情報を掲載						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地方への誘客のためには、広域周遊ルートの形成や地域の観光資源の磨き上げを行うことが必要であり、また、効果的なプロモーション活動が必要である。本事業では、東予東部の3市が連携して情報発信することによって、情報発信力強化及び観光地域のブランド化を目指す。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,300千円		
経費		367	1,300	1,300	1,300			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0		0	0			
	一般財源	367	1,300	1,300	1,300			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
県外からの観光客数(千人)			目標値	1000	1000	1000	1000	1000
			実績	614	734	-	未公表	-
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
東予東部3市に係る一定の認知度は得られてきているものの、情報発信等のPR活動の継続により、更なる認知度の向上を図ることが望まれる								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
首都圏・関西圏の観光客を、四国へ・東予へと誘客するためにも、まずは地域を知ってもらう必要があり、今後においても継続的なPR活動の実施が大切である								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
3市のプロモーション動画を制作し、令和7年度に開催される万博を契機とした観光客誘致の準備に努めた。 (令和6年度実績は8月現在未公表。「令和6年観光客数とその消費額」東予圏域の県外からの入込数が入る予定)								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07088_01		
事業名(行目名称)		観光施設整備事業	細事業名	観光施設整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数	数値	8			
	手段(どうやって)	自然災害や老朽化等により不具合が起こった観光施設を修繕する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光施設を良好な状態で維持する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○需用費 850千円	
経費		173	850	850	71		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	173	850	850	71		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
観光施設修繕箇所数(施設)		目標値	5	5	2	5	3
		実績	1	1	0	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>市内各地に所在する各観光地の機能維持のための修繕に係る事業であり、各観光地は20年以上が経過していることから修繕の必要性が高まっている。予算の範囲内で優先順位を付けつつ修繕を実施していることから、成果目標に達してはいないものの事業の方向性としては現状を維持する必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>各観光地において来訪者の安全・安心な環境を整備する必要があるため、予防的修繕や緊急修繕を実施する必要があることから現状維持とする。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	B:事業の進め方の改善検討				
<p>令和6年については2件の修繕のみとなったが、20年～30年が経過した市内観光地の不測の修繕等に対応し、本市の観光振興が滞ることのないように対応していくことが不可欠であることから、今後も事業を継続していく必要がある。また、今後、1件当たりの修繕金額の傾向を見ながら、適宜目標値を修正する。</p>							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	07221_01			
事業名(行目名称)		太鼓祭り観光資源化推進事業費		細事業名	太鼓祭り観光資源化推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用		施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘		担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客			数値	1,200,000人		
	手段(どうやって)	市民や観光客が安全で快適に太鼓祭りを楽しむことができるよう観光面での取組実施(仮設トイレの設置、警備員の配置など)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光客の安全確保と利便性向上を図ることにより、新居浜太鼓祭り、新居浜市の認知度アップ、地域経済の活性化を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		8,268	9,096	9,096	9,095	○委託料 9,096千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	8,268	9,096	9,096	9,095			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
太鼓祭り観客数(人)			目標値	150000	180000	0	200000	200000
			実績	99300	190300	259150	259150	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
人件費及び物件費の高騰が著しく、太鼓祭りにおける各会場の要望数量を確保することが難しくなっている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
各種高騰により各会場の要望数量を用意することは難しいため、今後は各会場の必要数量を精査し、最適な数量にて対応していく必要があることから現状維持とする。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和6年度については、コロナ感染拡大後開催されていなかった川西地区による船御幸が開催されたことにより、目標値を大きく上回る観光客の誘致が図られた。今後は計画通りに事業を進め、安全安心に「にいほま太鼓祭り」を楽しむことのできる環境を整備し、「にいほま太鼓祭り」を活用した観光資源化に努める。								

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	07254_01	
事業名(行目名称)		観光物産事業推進費		細事業名	新居浜市観光物産協会事業補助金		
総合計画	まちづくり	経済・雇用		施策	観光・物産の振興		
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘		担当課	観光物産課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市観光物産協会会員		数値	288		
	手段(どうやって)	新居浜市の観光物産振興に関する各種イベント開催のほか、会員増強に努める。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	一般社団法人としての安定した組織運営を図るため会員を増強し、各種観光または物産イベントへの参画、宣伝強化による当市全体の観光客数増を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		18,654	16,755	16,755	18,287	○負担金補助及び交付金 16,755千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	18,654	16,755	16,755	18,287		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
観光宣伝事業実施数			目標値	15	15	15	
			実績	8	5	2	3
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
本市の観光物産振興の中核となり、会員やその他事業者との関係構築に努め市内外でのPRを行う組織であるべきだが、自主性に欠け受け身な体質であることが課題である。会員数を抱えているという点で協会にしかできない事業があるため、既存事業のブラッシュアップや新規事業への参画を期待する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
本市の観光物産振興を進めるうえで、行政以外の民間組織は必要であることから、現状維持を図る。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
本市の観光物産事業の要となる組織である当該協会が自発的に活動できるようバックアップするとともに、自主財源の確保を意識した経営ができるよう助言を行ったが、自走するには能力的にも経済的にも十分とは言えないため、継続して事業を進めることが適当であると考えます。							

## 令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)			数値			
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者			最終評価責任者			
事後評価	作成担当者			最終評価責任者			